

ふるさと東総

令和4年3月1日発行 No.21

掲載 内容

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ…… 2
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要 …………… 2
- 東総地区広域市町村圏事務組合の主な事業 …… 3～6
組合事務所の移転、銚子連絡道路整備促進事業、ごみ処理広域化推進事業



銚子市「外川ふんわりまち歩き」
(令和3年10月1日号)



旭市「コロナ禍を照らす大輪の花」
(令和3年8月1日号)



匝瑳市「手づくりひょうたんに願い込め」
(令和3年1月1日号)

写真は、組合を構成する3市広報紙の表紙を飾ったものです。

編集・発行／東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2604 千葉県旭市高生1番地（旭市役所海上庁舎2階）

電話：0479-85-8040 FAX：0479-85-8045

ホームページアドレス <http://www.tksj.jp/>

はじめに ～魅力と活力のある圏域づくりに向けて～

東総地区広域圏は、平均気温が全国平均に比べ高く、雨量では関東各地の平均を上回っている海洋性の気象で、冬暖かく夏涼しい恵まれた気象条件下にあり、自然景観や農海産物に恵まれた魅力のある地域となっております。

特に、肥沃な土地を利用した農業では、全国有数の農業産出額を誇っております。また、日本随一の水揚げ量を誇る銚子漁港では、四季を通じて様々な旬の魚が水揚げされることはあまりにも有名です。

このような地域の中で、これからも、広域圏発展のため、より一層の連帯と協調のもと、「魅力と活力のある圏域づくり」に向けて取り組んでまいりますので、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、この広報紙には、当組合施設の利用案内や活動状況など様々な情報が満載されておりますので、皆様の情報源として活用いただければ幸いです。

ご覧になった皆様からの貴重なご意見をお寄せいただき、今後の圏域づくりに活かしたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。



東総地区広域市町村圏事務組合管理者(旭市長)

米本 弥一郎

東総地区広域市町村圏事務組合の概要

事務組合の構成

構成団体：銚子市、旭市、匝瑳市

圏域面積：316.17km²

圏域人口：157,216人

銚子市 面積：84.20km² 人口：58,431人

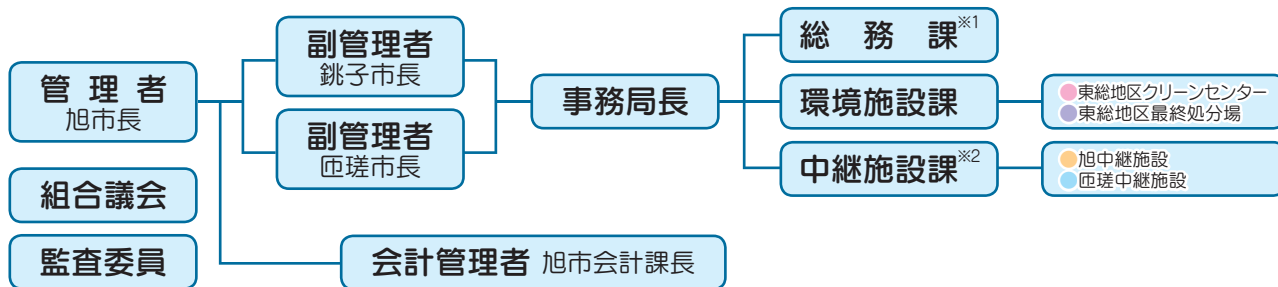
旭市 面積：130.45km² 人口：63,745人

匝瑳市 面積：101.52km² 人口：35,040人

【令和2年国勢調査より】



事務組合の組織



※1 令和4年2月1日から組合事務所(総務課)は、旭市役所海上庁舎2階に移転しました。

※2 令和4年4月1日から中継施設課が、旭市役所海上庁舎2階に新設されます。

組合事務所の移転について

■ 2月1日に東総地区広域市町村圏事務組合の事務所が移転しました

東総地区広域市町村圏事務組合の事務所が東総振興センター（旭市ハの612番地1）から旭市役所海上庁舎2階（旭市高生1番地）に移転しました。東総振興センターは、昭和49年8月に竣工、既に築47年以上が経過し、経年劣化による老朽化が進んでいましたが、2月1日からは東総地区クリーンセンター、東総地区最終処分場、旭中継施設、匝瑳中継施設のほぼ中間に位置する旭市役所海上庁舎に移転することとなりました。



▲外観



東総地区広域市町村圏事務組合の主な事業

職員採用試験合同実施業務（総務課）

- 目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験を合同で実施しています。
- 実施日：令和3年9月19日(日) 試験会場：銚子市立銚子高等学校
- 参加団体：6団体（銚子市、旭市、匝瑳市、匝瑳市横芝光町消防組合、東総広域水道企業団、八咫水道企業団）
- 試験職種：12職種（一般行政職、技術職、保育士職、消防職等）
- 応募者数：206人
- 受験者数：170人

参加団体一覧

	応募者(人)	受験者(人)
銚子市	41	33
旭市	105	88
匝瑳市	35	27
匝瑳市横芝光町消防組合	17	15
東総広域水道企業団	5	4
八咫水道企業団	3	3



職員共同研修事業（総務課）

- 目的：構成市、圏域内一部事務組合の職員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに、指導力及び勤務能率の向上を図ります。
- ・新任職員研修：新規採用職員
- ・初級職員研修：在職期間4年以上の職員に対する研修
- ・中級職員研修：在職期間10年以上の職員に対する研修
- ・監督者研修：係長又は同等の職にある職員に対する研修
- 修了者：計329人

研修名	修了者(人)	日数(日)	対象者
新任職員研修	39	6	新規採用職員
初級職員研修	36	4	在職期間4年以上、大卒1年、短大卒2年以上
中級職員研修(第一部)	40	4	在職期間10年以上、大卒6年、短大卒8年以上
〃(第二部)	62	1	在職期間15年以上、大卒10年、短大卒12年以上
監督者研修(JST基本コース)	33	2	係長又は同等職
〃(キャプテンシー)	69	2	JST基本コース研修修了者
管理監督者研修	32	2	係長以上の職にある者
ハラスメント研修	18	1	テーマに関心のある者(監督職・管理職)
計	329	22	

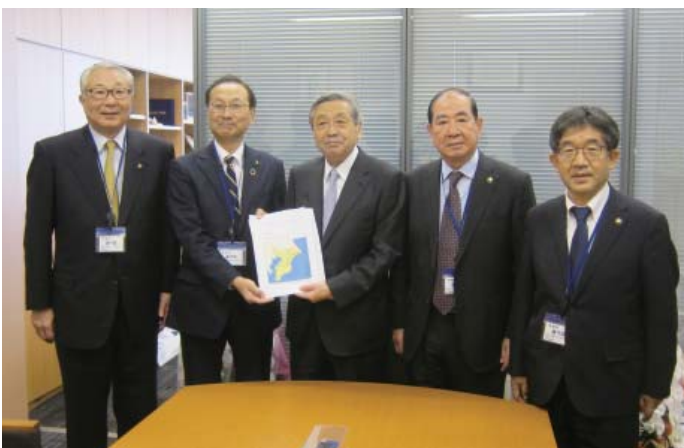
銚子連絡道路整備促進事業

■山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会（総務課）

銚子連絡道路は、山武・東総地域の根幹となる交通基盤施設であり、山武市と銚子市を連絡する延長約30kmの地域高規格道路です。

本道路は、東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道（圏央道）など一体となって、首都圏をはじめとする各地域との交流連携により、魅力ある個性豊かな地域づくりに貢献することが期待されます。

山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は令和3年11月8日、衆・参国會議員、財務省、国土交通省及び関東地方整備局を訪問し、銚子連絡道路の早期完成に向けての要望活動を行いました。



▲要望活動1



▲要望活動2

■新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった事業

- 中学生海外派遣研修事業（令和4年度も中止となります）
- 銚子連絡道路整備促進地区大会
- 山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会総会

ごみ処理広域化推進事業

東総地区最終処分場が供用開始

当組合が取り組んできたごみ処理広域化推進事業に伴いまして、昨年7月から東総地区最終処分場（銚子市森戸町地先）が供用を開始しました。

最終処分場では、銚子市野尻町地先で稼働している東総地区クリーンセンターから排出・運搬される溶融飛灰処理物を埋め立てています。

東総地区最終処分場は、クローズド型最終処分場と呼ばれる施設です。埋立地を被覆施設で覆うことにより風雨などの気象条件の影響を受けなくなり、埋立物の飛散防止も図れるため、従来のオープン型最終処分場に比べて安定した施設の運転が可能となります。

また、浸出水処理水を循環利用（＝下図）し、外部への無放流が可能となるため、処理水による周辺環境への影響を防止します。



▲被覆施設



▲埋立地

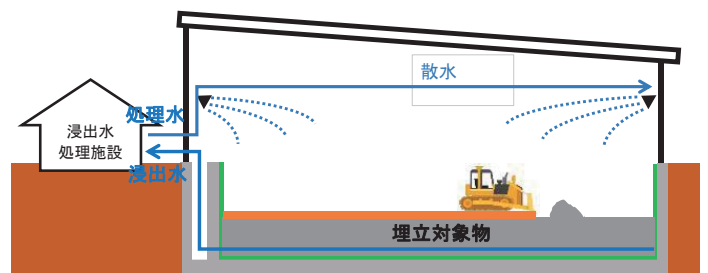


図 浸出水処理水の循環利用

浸出水処理施設の処理水は、埋立対象物の安定化のために埋立地内にすべて散水します。散水された水は、再び浸出水として集水し、浸出水処理施設で処理します。処理水を循環利用することにより敷地外への放流は行いません。

●施設概要

所在地	銚子市森戸町953番地
事業地面積	約21,000㎡
埋立地面積	約3,500㎡
埋立容量	約37,000㎡
埋立対象物	溶融飛灰処理物
貯留構造物	鉄筋コンクリート造
被覆施設	鉄骨造
遮水設備	二重遮水シート+漏水検知システム
浸出水処理施設	処理能力10㎡/日（処理水は循環利用）
その他	地下水集排水設備、雨水集排水設備、 浸出水集排水設備、管理棟ほか